

# 最近の経済動向

## 令和3年2月号

(北海道の景気動向～令和2年12月の経済指標を中心として)

### 低迷しているものの、一部に明るい動きがみられる

#### ■生産動向

- P1 生産活動(鉱工業生産指数)  
低い水準で推移しているものの、一部に明るい動きがみられる

#### ■需要動向(消費・投資)

- P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)  
一部が低い水準にとどまるものの、持ち直しの動きが続いている
- P6 住宅建設(新設住宅着工戸数)  
下げ止まりの兆しがみられる
- P7 公共工事(公共工事請負金額)  
減少している
- P8 観光(来道者数、来道外国人数)  
厳しい状況となっている
- P10 輸出入(輸出額、輸入額)  
輸出額、輸入額とも前年を下回った

#### ■企業倒産

- P11 企業倒産(倒産件数、負債総額)  
倒産件数、負債総額ともに減少した

#### ■雇用動向

- P13 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)  
弱い動きが続いている

#### ■物価動向

- P15 物価(消費者物価指数)  
消費者物価指数は前年を下回った

#### ■企業の業況感

- P16 企業経営者意識調査  
前期から上昇している
- P17 企業のみなさまから伺いました

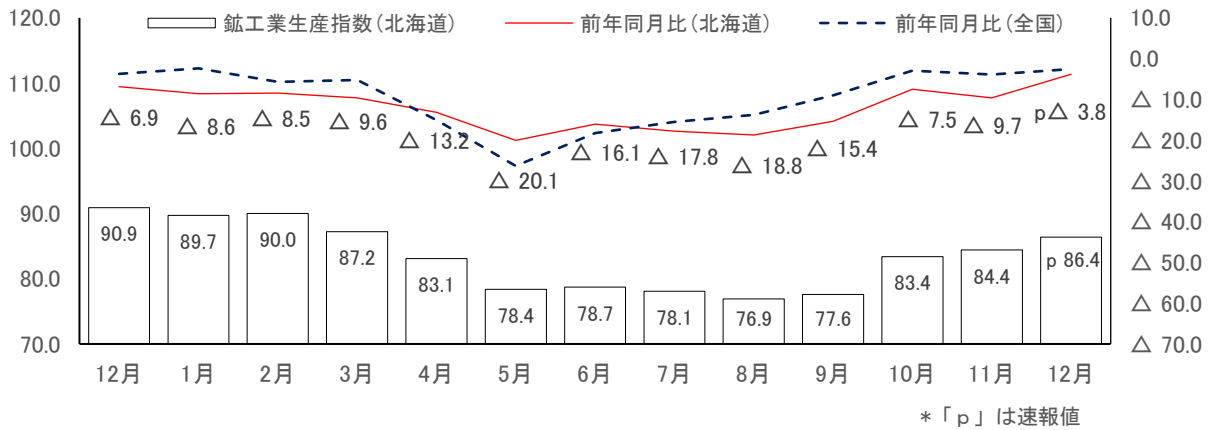
# 生産活動～低い水準で推移しているものの、一部に明るい動きがみられる

## 鉱工業生産指数（12月）

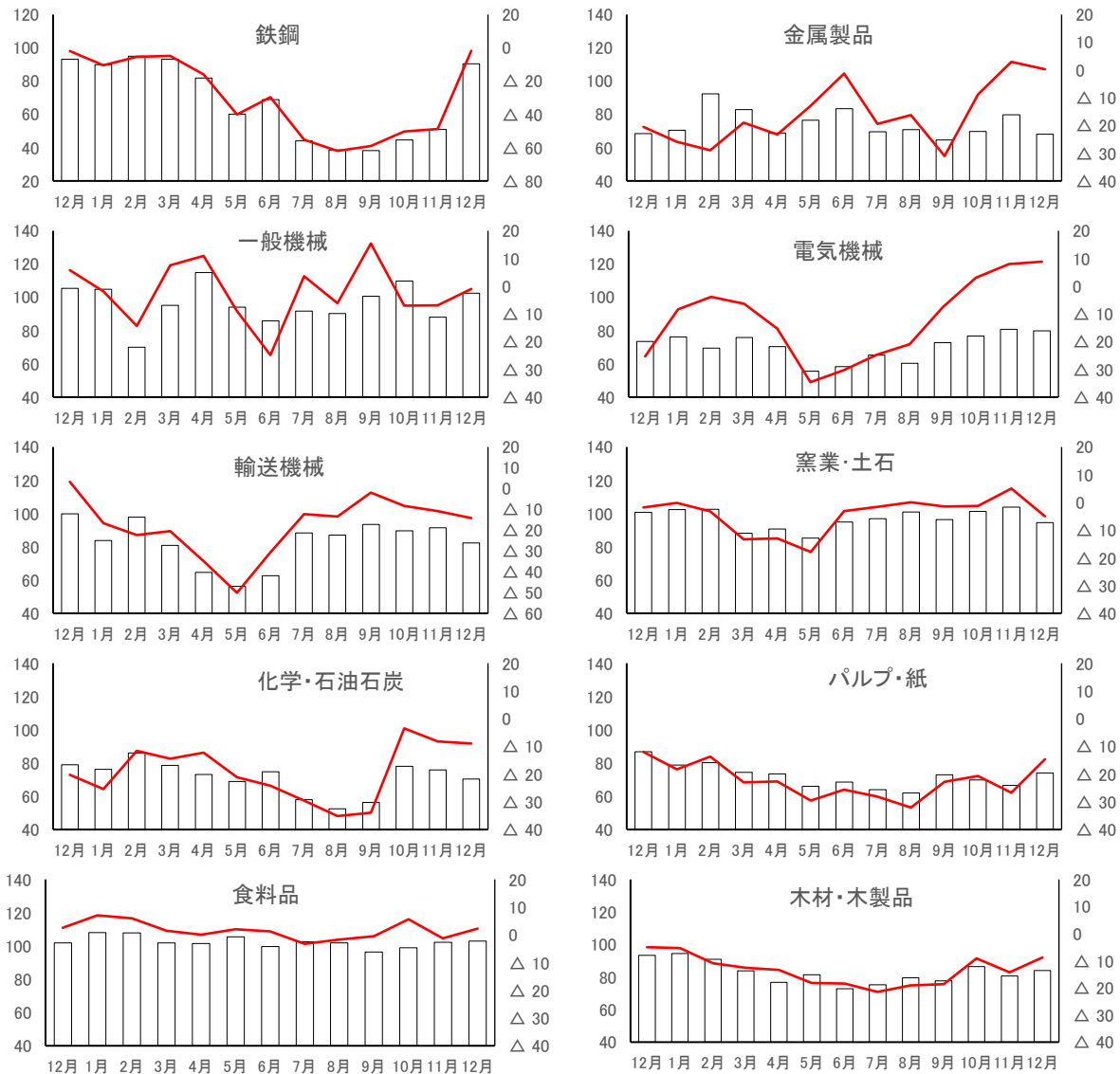
鉱工業生産指数（季節調整済）は、86.4で前月比+2.4%（4か月連続で上昇）であり、原指数による前年同月比は、△3.8%（15か月連続の低下）となった。業種別にみると、鉄鋼業など8業種が前月比上昇、金属製品工業など7業種が前月比低下となった。

（季節調整済指数：平成27年＝100）

（原指数前年同月比：％）



### ■ 主な業種の季節調整済指数(右軸：原指数前年同月比%)

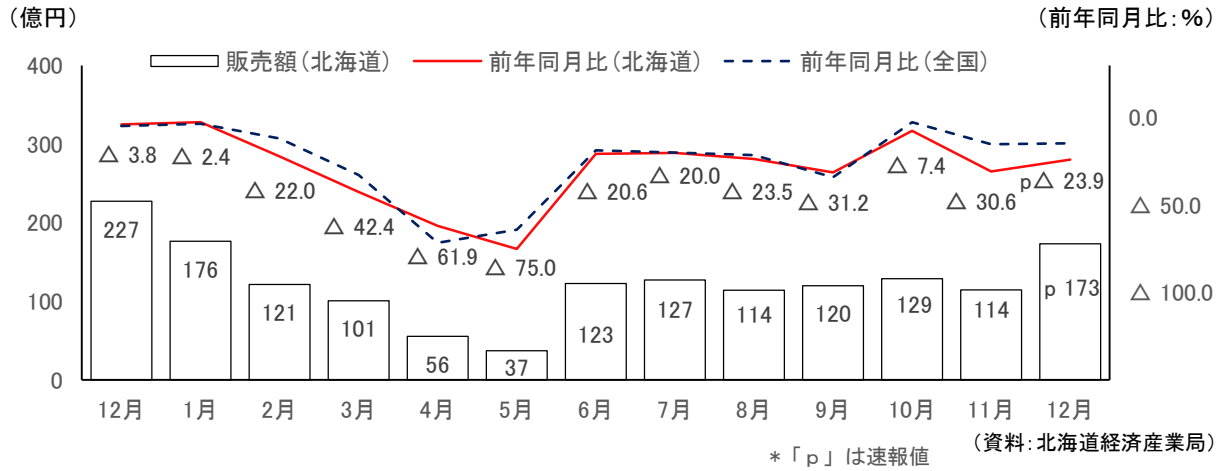


（資料：北海道経済産業局）

# ■個人消費～一部が低い水準にとどまるものの、持ち直しの動きが続いている

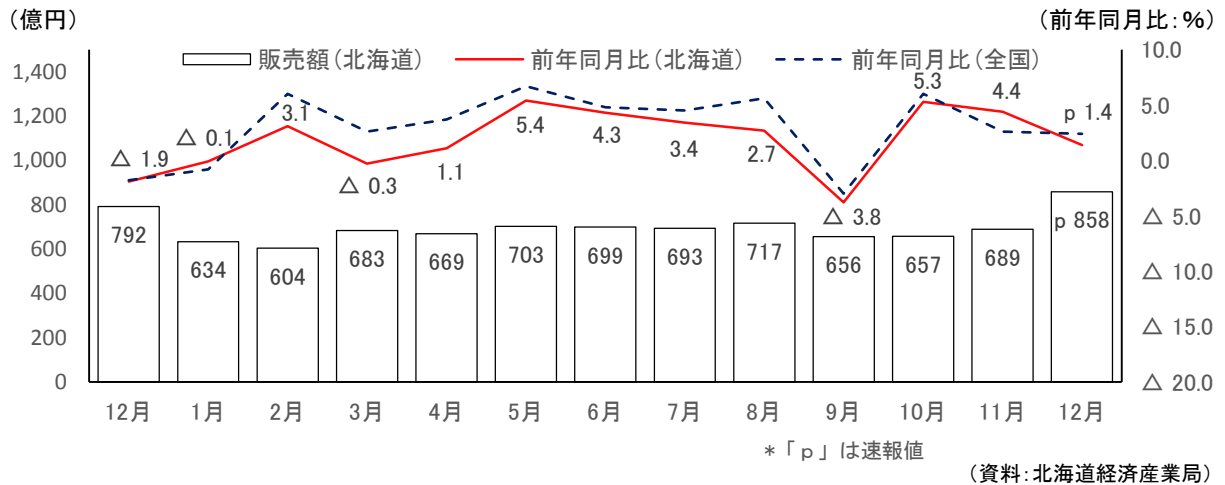
## 百貨店販売額（12月）

百貨店販売額は、173億円で前年同月比23.9%の減少となり、15か月連続で前年を下回った。



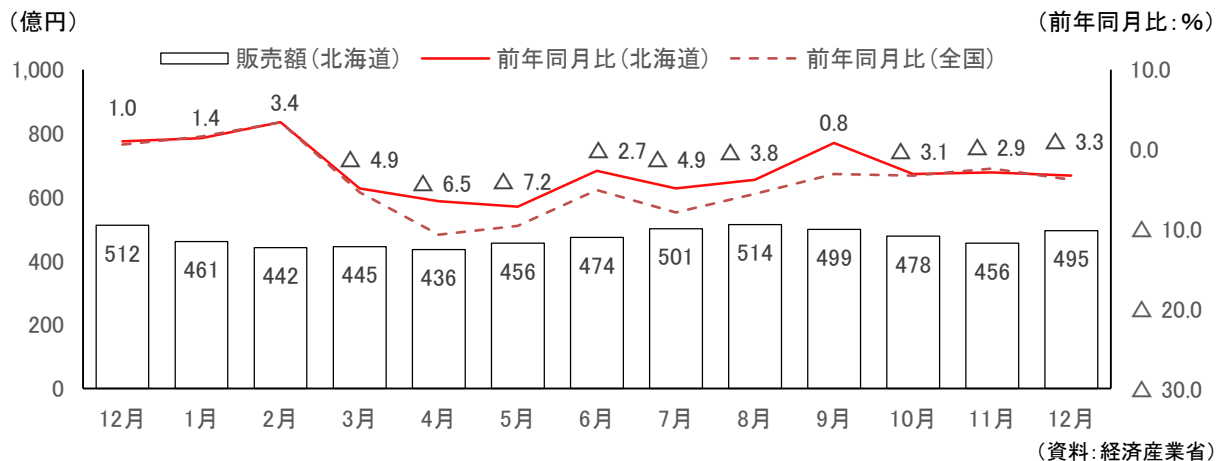
## スーパー販売額（12月）

スーパー販売額は、858億円で前年同月比1.4%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。



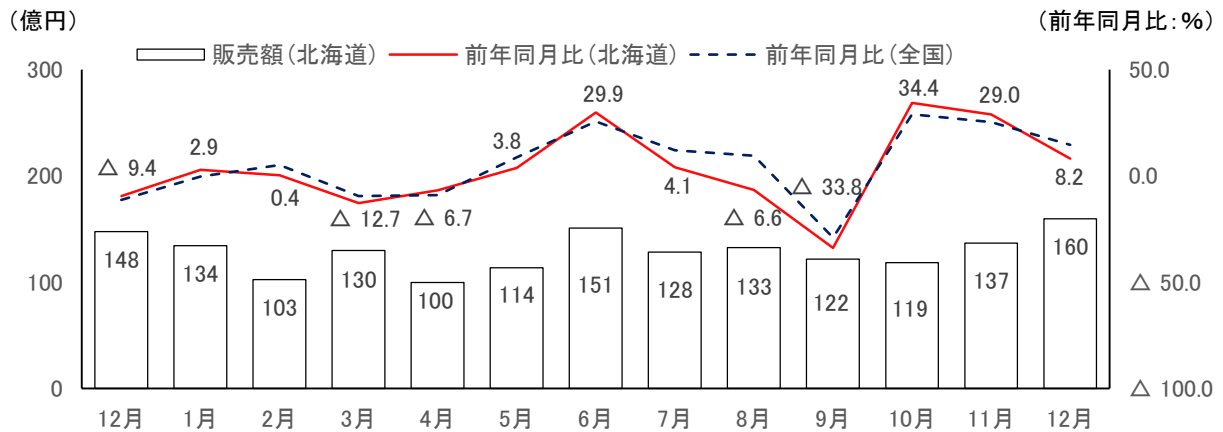
## コンビニエンスストア販売額（12月）

コンビニエンスストア販売額は、495億円で前年同月比3.3%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



## 家電大型専門店販売額（12月）

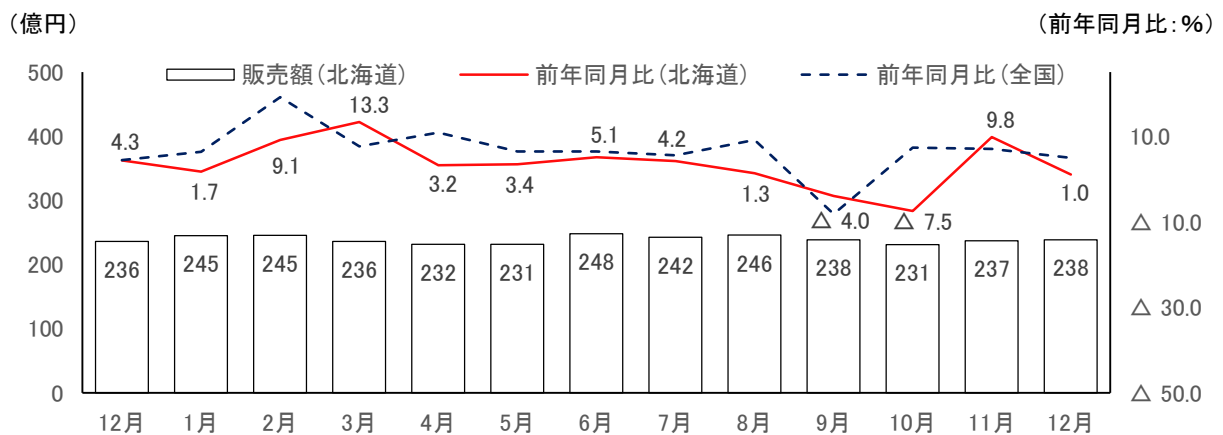
家電大型専門店販売額は、160億円で前年同月比8.2%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。



(資料:経済産業省)

## ドラッグストア販売額（12月）

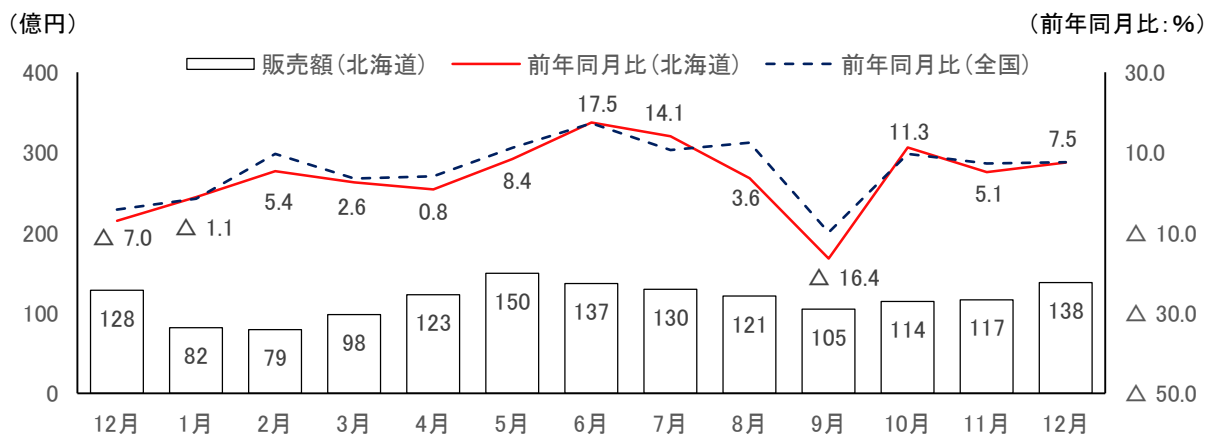
ドラッグストア販売額は、238億円で前年同月比1.0%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



(資料:経済産業省)

## ホームセンター販売額（12月）

ホームセンター販売額は、138億円で前年同月比7.5%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

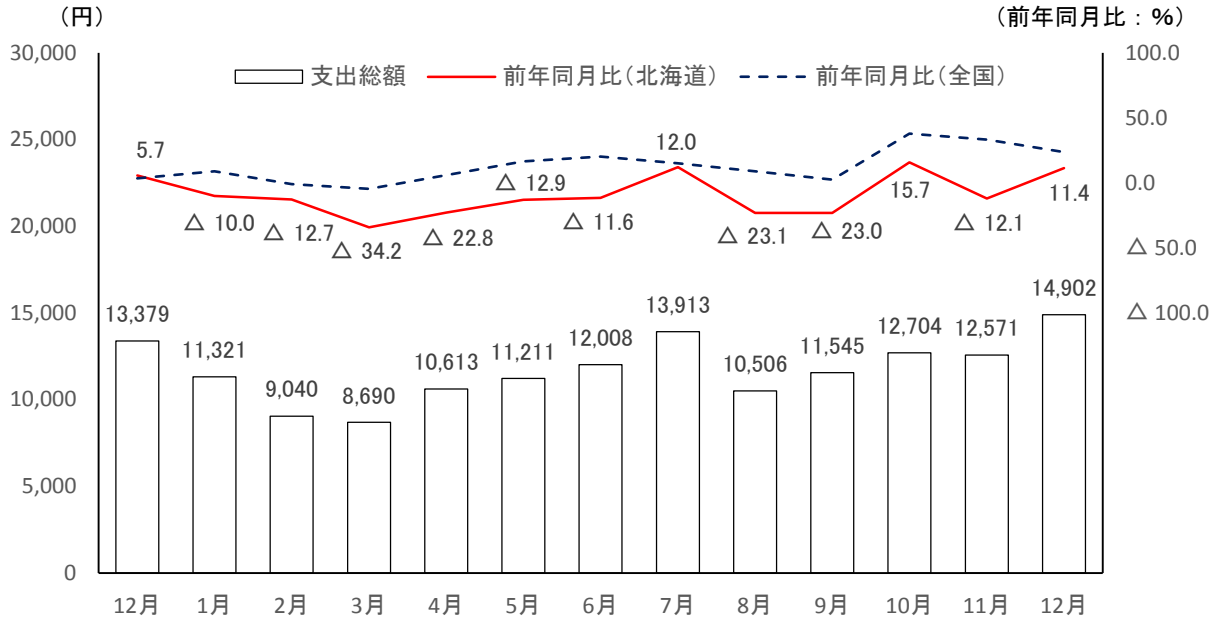


(資料:経済産業省)

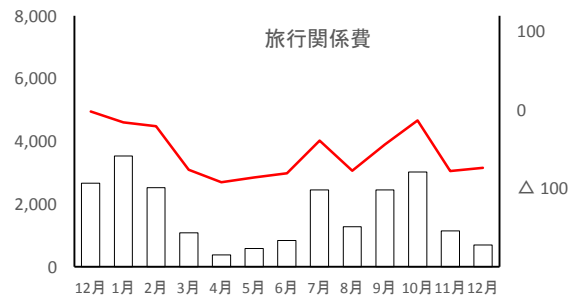
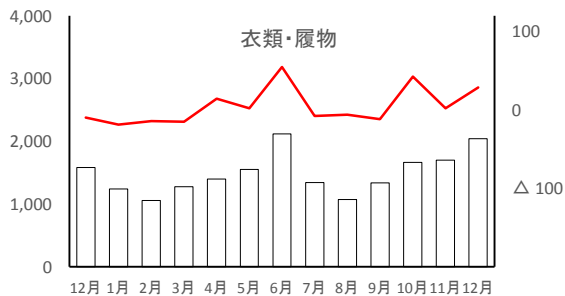
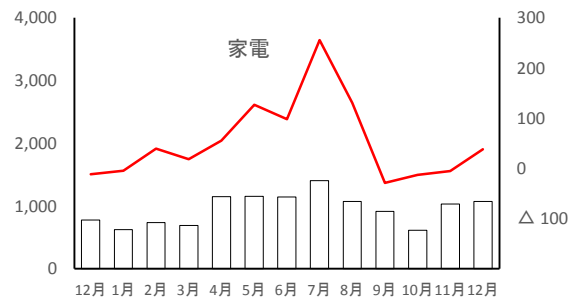
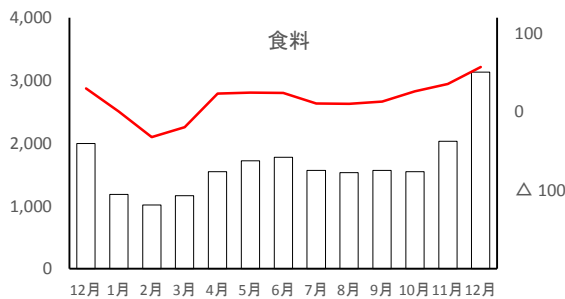
## インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出（12月）

インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出総額は14,902円で、前年同月比11.4%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。

品目別にみると、食料は3,134円で前年同月比57.2%の増加、家電は1,072円で同38.0%の増加、衣類・履物は2,040円で同28.7%の増加、旅行関係費が697円で同73.8%の減少となった。



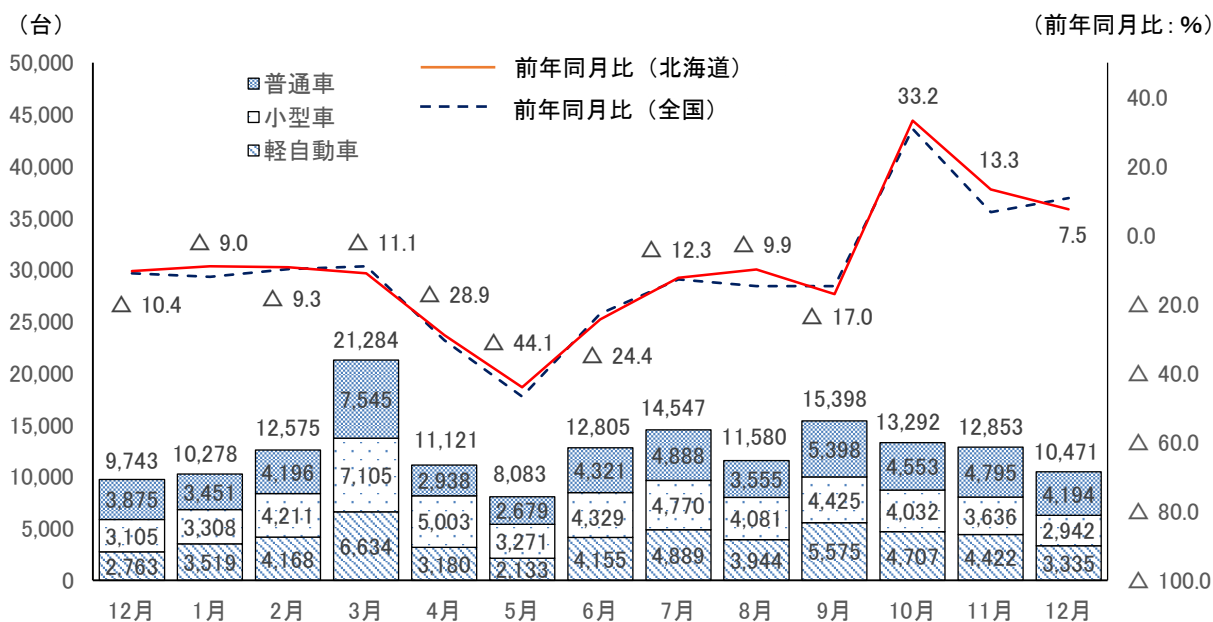
### 品目別支出額（右軸：前年同月比%）



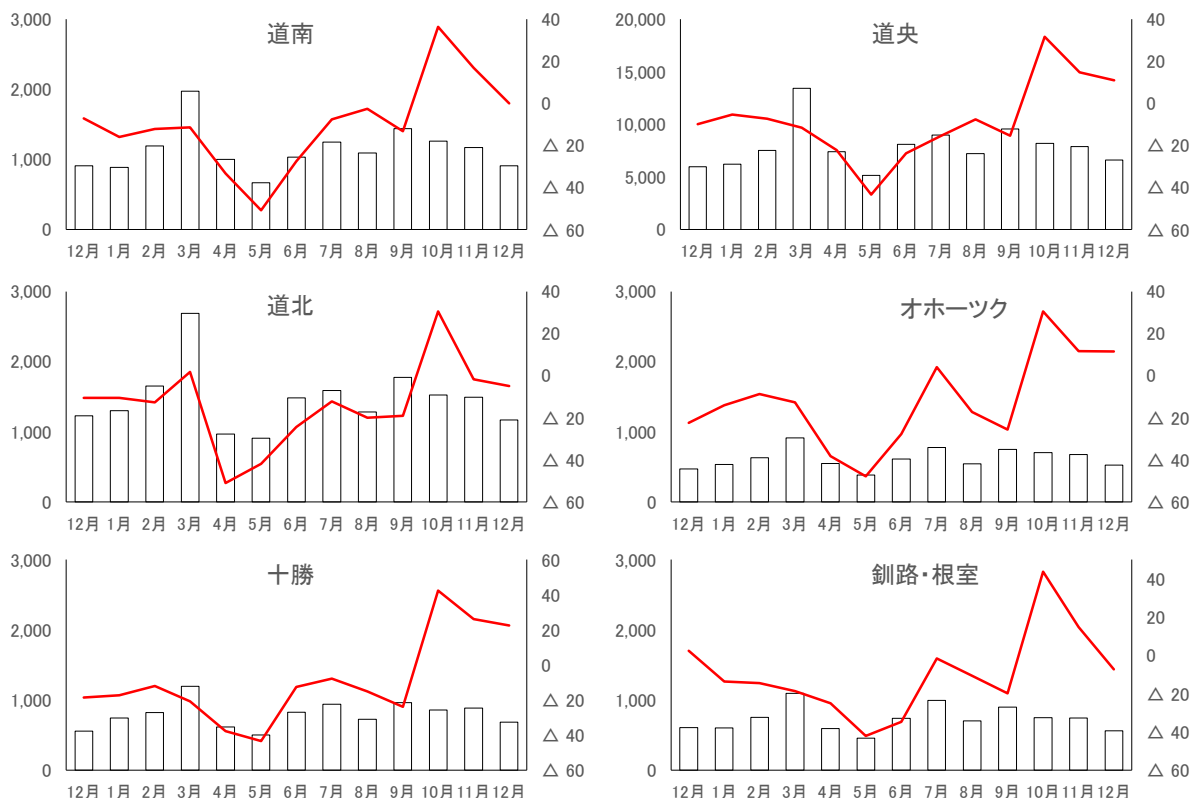
(資料: 総務省)

## 新車登録台数（12月）

新車登録台数は、10,471台で前年同月比7.5%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。  
 車種別にみると、普通車は、4,194台で前年同月比8.2%の増加、小型車は、2,942台で同5.2%の減少、軽自動車は、3,335台で同20.7%の増加となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）



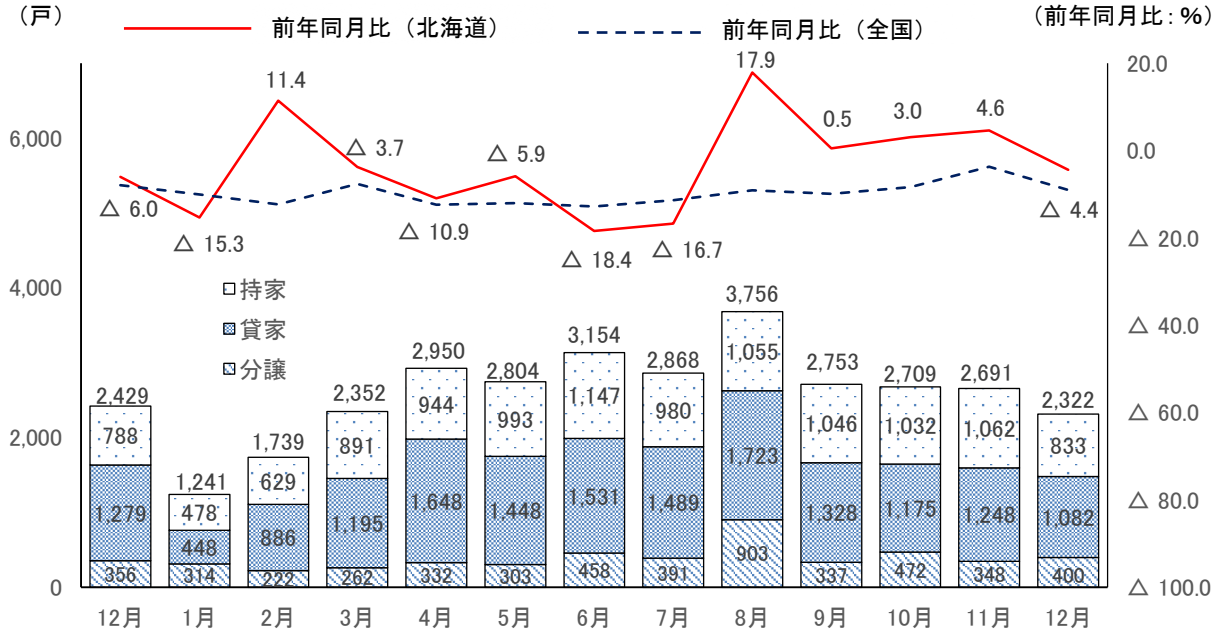
(資料: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

# ■住宅建設～下げ止まりの兆しがみられる

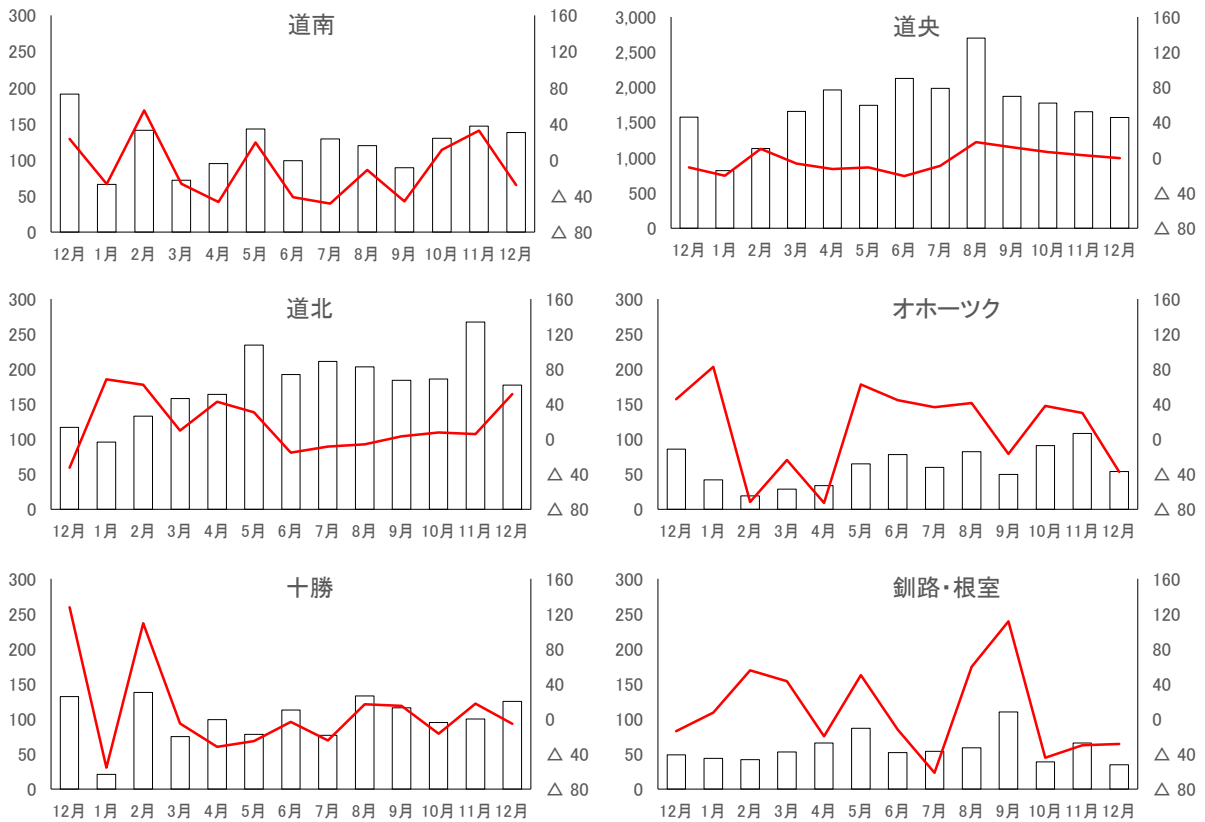
## 新設住宅着工戸数（12月）

住宅着工戸数は、2,322戸で前年同月比4.4%の減少となり、5か月ぶりに前年を下回った。

利用関係別にみると、持家は、833戸で同5.7%の増加、貸家は、1,082戸で同15.4%の減少、分譲住宅は400戸で同12.4%の増加となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

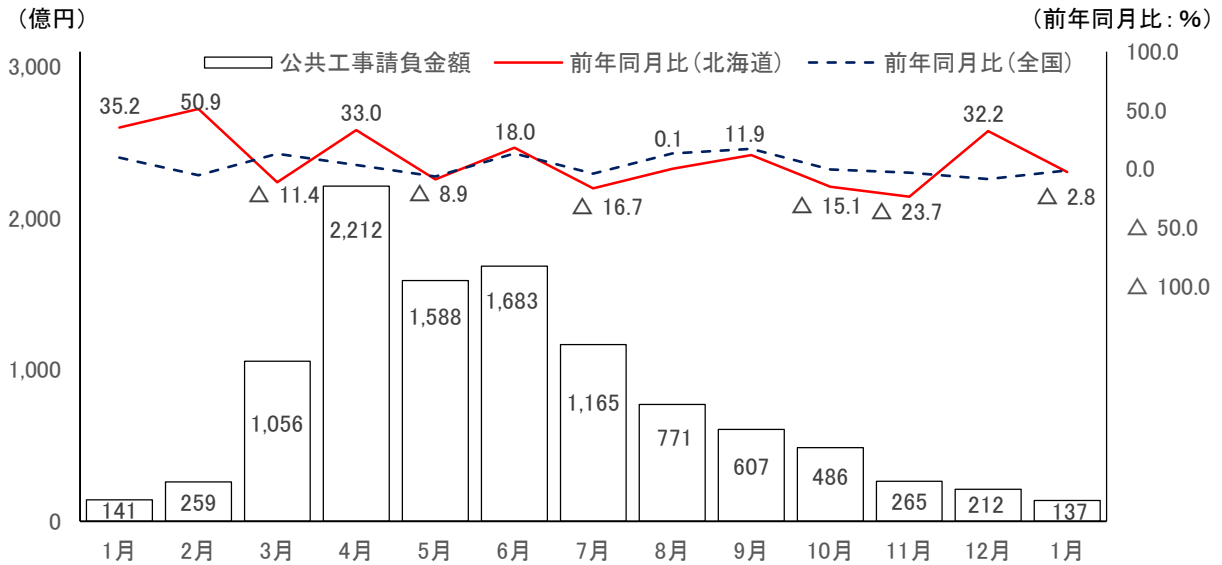


（資料：国土交通省）

# 公共工事～減少している

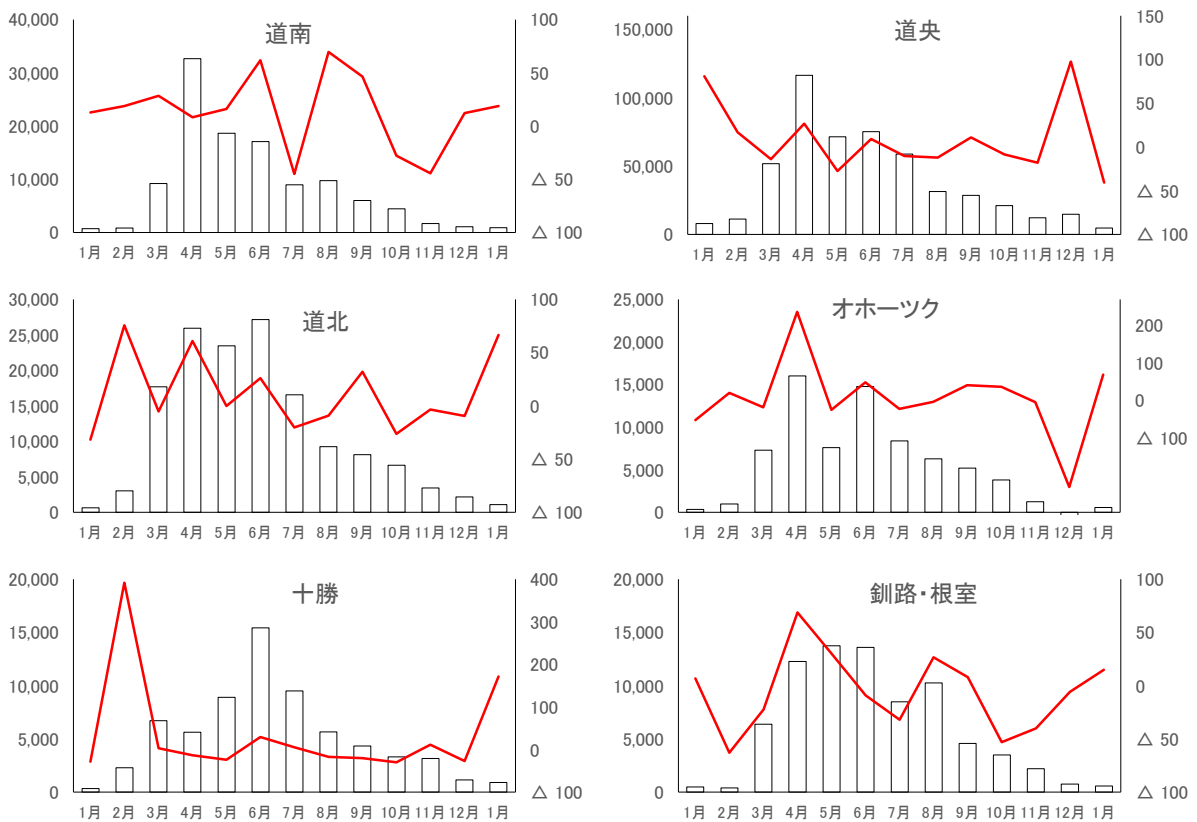
## 公共工事請負金額（1月）

請負金額は、137億円で前年同月比2.8%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



(資料：北海道建設業信用保証(株))

## 各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）



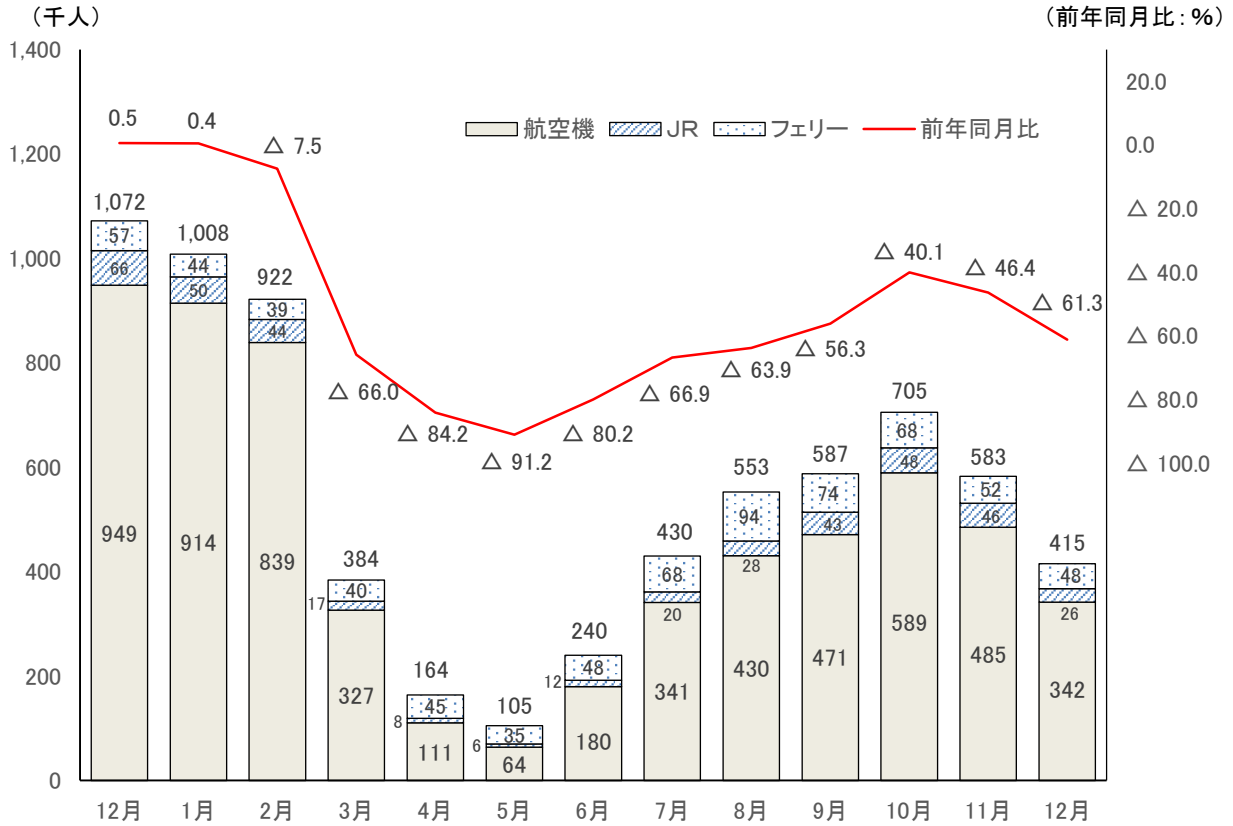
(資料：北海道建設業信用保証(株))



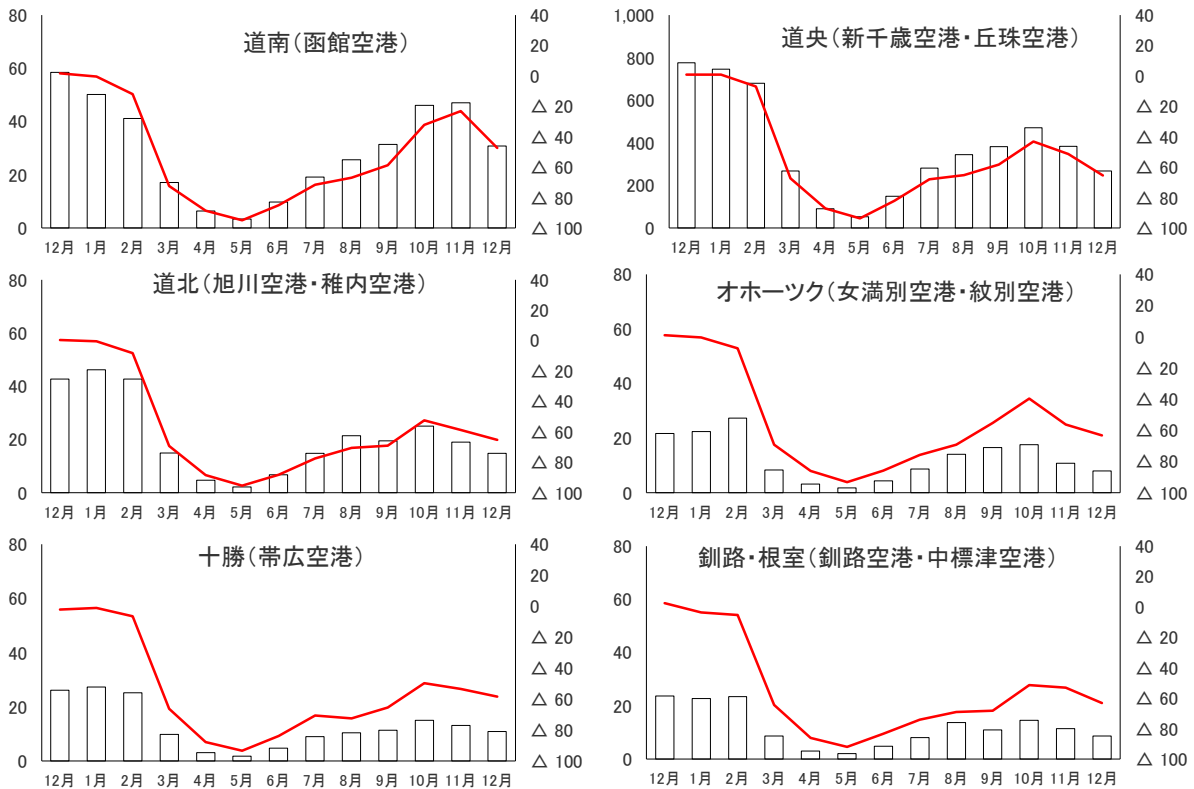
# ■観光～厳しい状況となっている

## 来道者数（12月）

来道者数は、41万5千人で前年同月比61.3%の減少となり、11か月連続で前年を下回った。



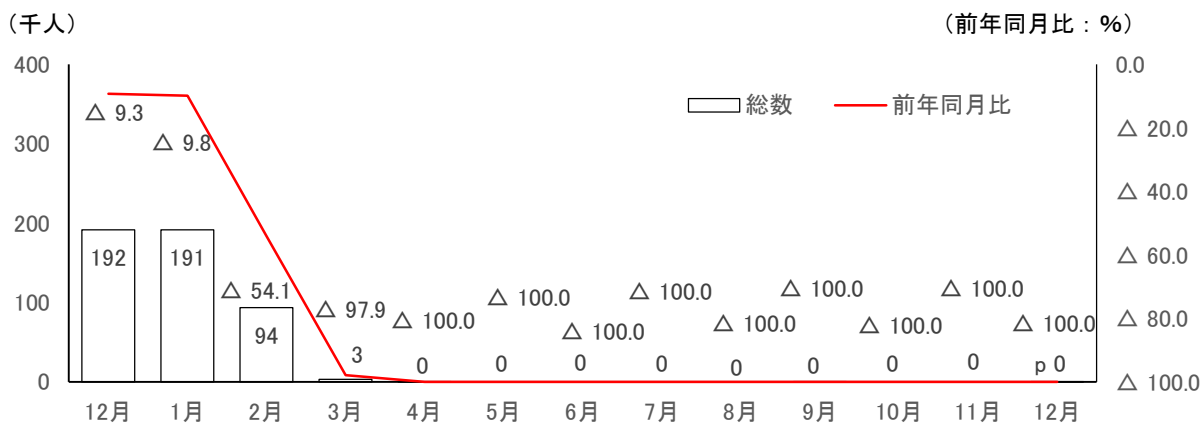
## ■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：前年同月比%）



(資料：(公社)北海道観光振興機構)

## 来道外国人数（12月）

本道に直接入国した外国人は、7人で前年同月比 100.0%の減少となり、15 か月連続で前年を下回った。

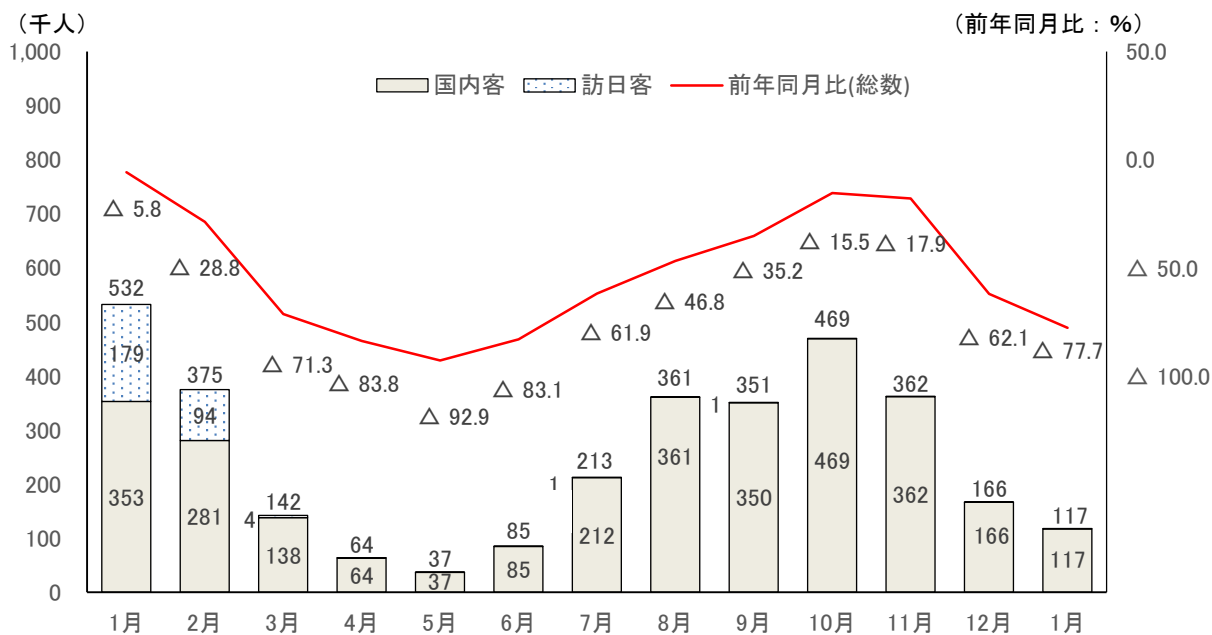


\* 「p」は速報値 (資料:法務省入国管理局)

## 宿泊者数（1月）

日本旅館協会加盟施設の宿泊者数は、117,255人で前年同月比 77.7%の減少となり、15 か月連続で前年を下回った。

このうち、国内客は 117,146 人で同 66.2%の減少、訪日客は 109 人で同 99.9%の減少となった。

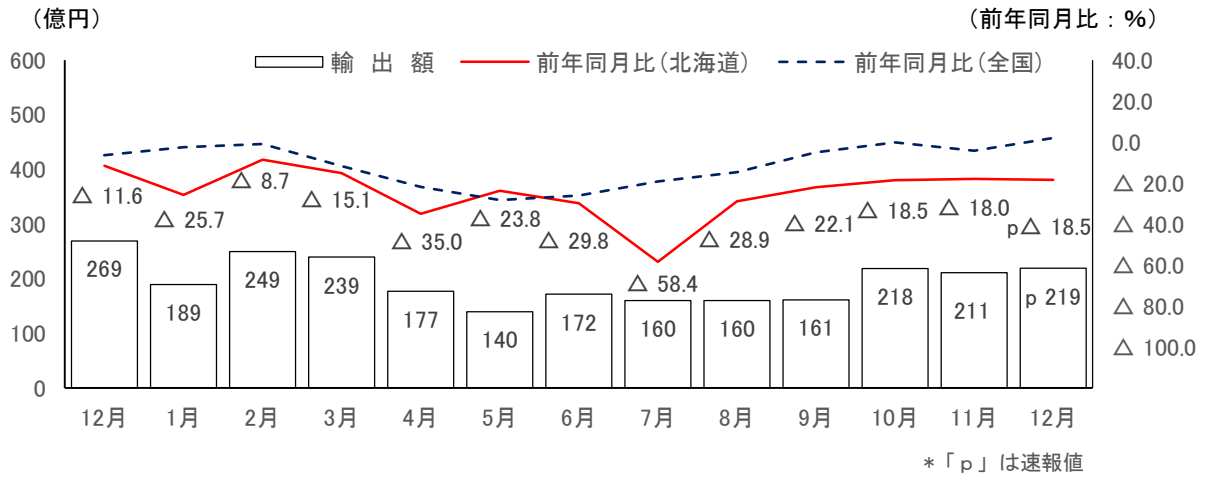


(資料:日本旅館協会北海道支部連合会)

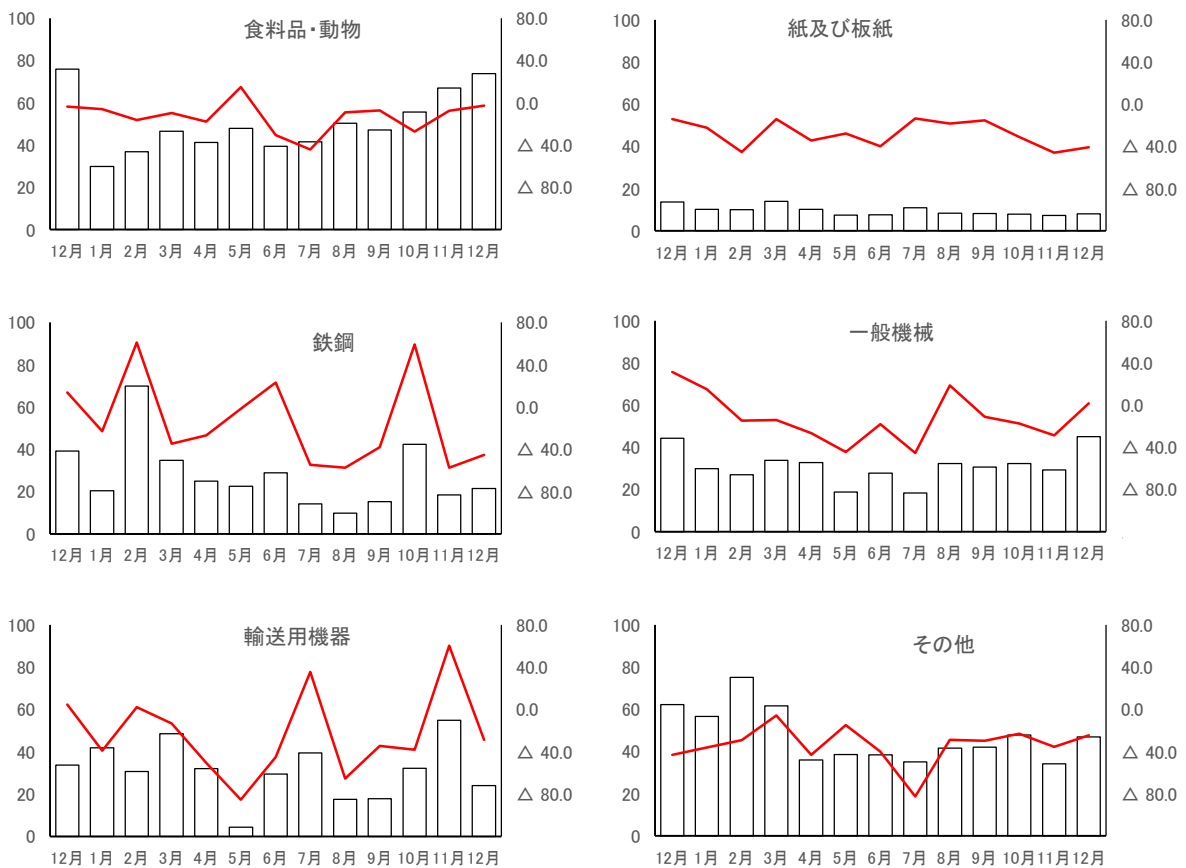
# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

## 輸出額（12月）

輸出額は、219 億円で前年同月比 18.5%の減少となり、17 か月連続で前年を下回った。品目別にみると、鉄鋼くずなどが増加したものの、鉄鋼、自動車の部分品などが減少した。



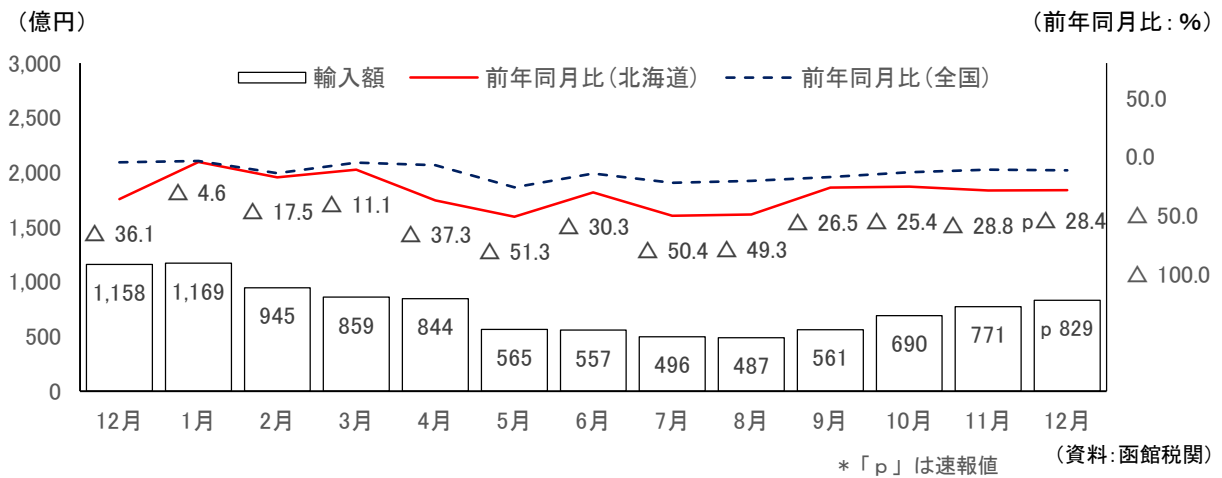
## ■種類別の輸出額 (右軸：前年同月比%)



(資料：函館税関)

## 輸入額（12月）

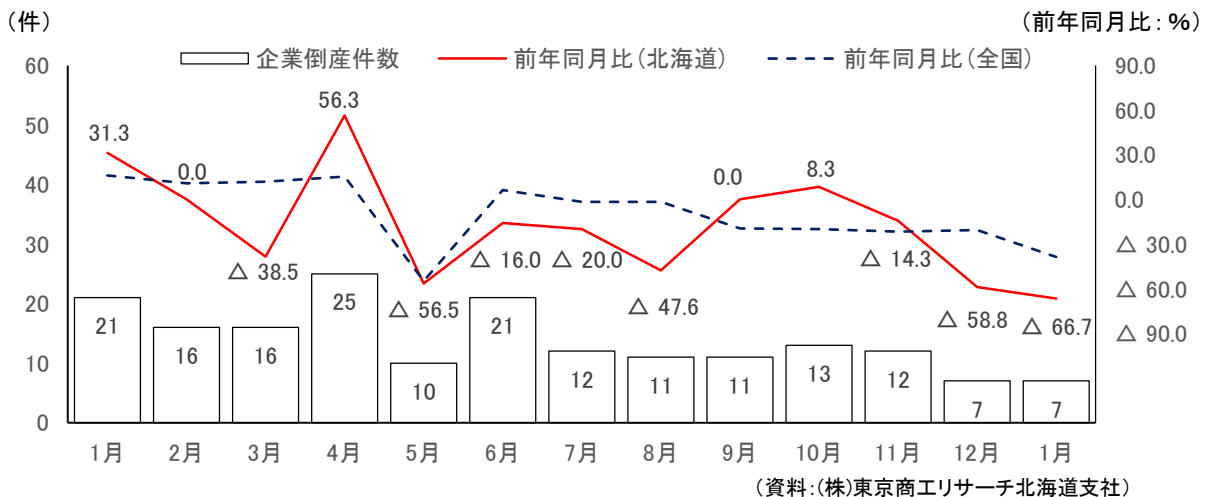
輸入額は、829億円で同28.4%の減少となり、20か月連続で前年を下回った。  
品目別にみると、原油・粗油、石炭などが減少した。



## ■企業倒産～倒産件数、負債総額ともに減少した

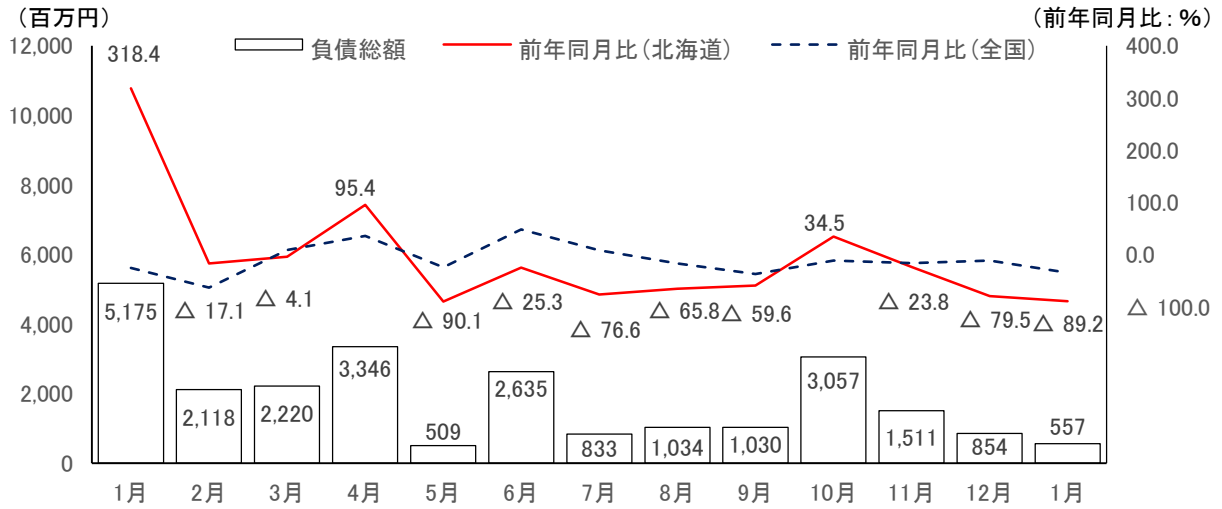
### 倒産件数（1月）

企業倒産件数は7件、前年同月比で14件の減少となった。  
原因別でみると、販売不振が3件（構成比42.9%）を占めた。  
業種別でみると、サービス・他が3件（構成比42.9%）、製造業、卸売業、不動産業、運輸業が各1件（各構成比14.3%）であった。

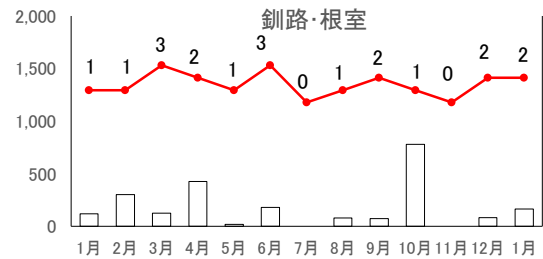
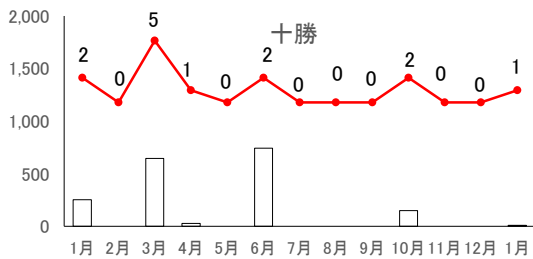
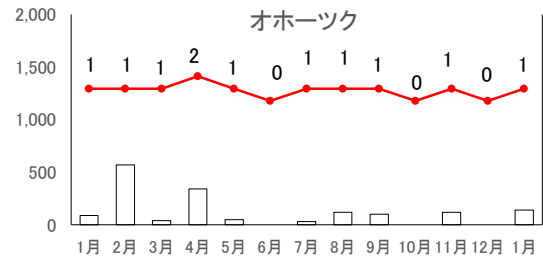
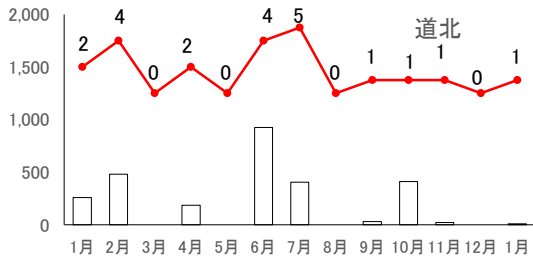
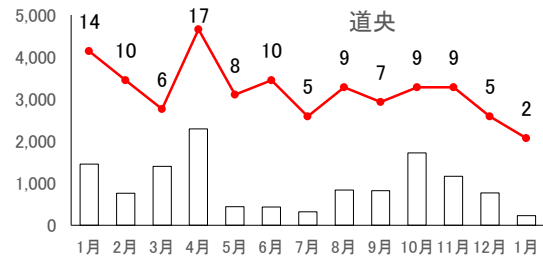
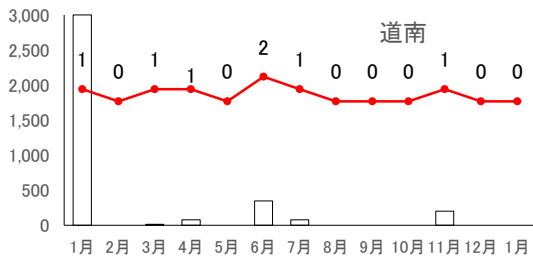


## 負債総額（1月）

負債総額は、5億57百万円で同89.2%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）



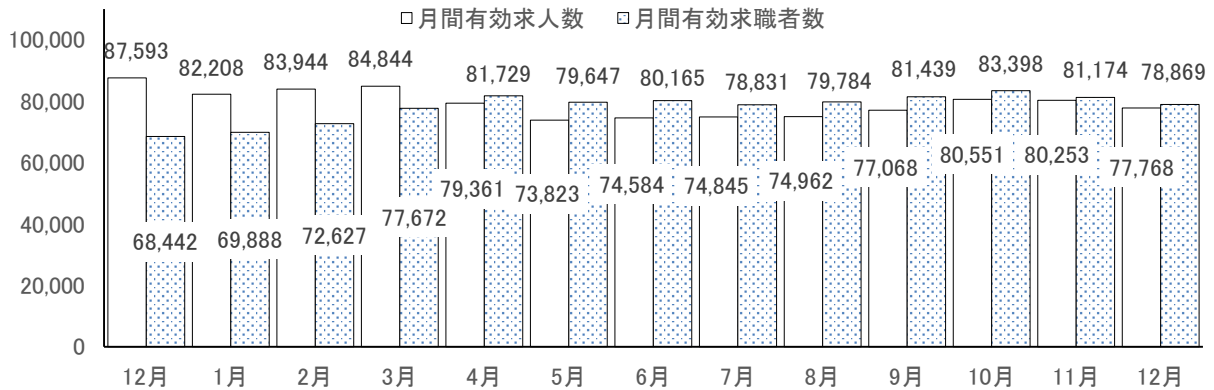
(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

## ■求人・求職～弱い動きが続いている

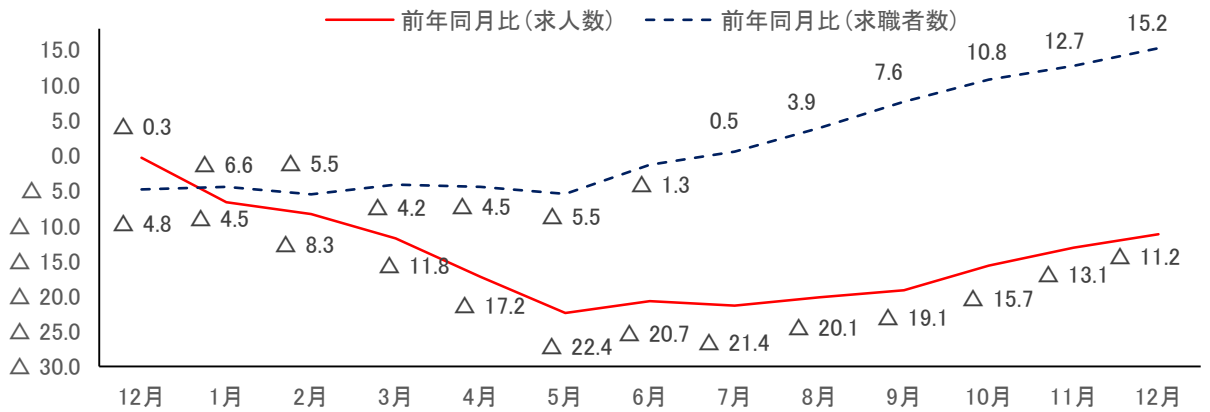
### 月間有効求人数・求職者数（12月）

月間有効求人数は、7万7,768人で前年同月比11.2%の減少となり、14か月連続で前年を下回った。月間有効求職者数は、7万8,869人で同15.2%の増加となり、6か月連続で前年を上回った。

(人)



(前年同月比：%)



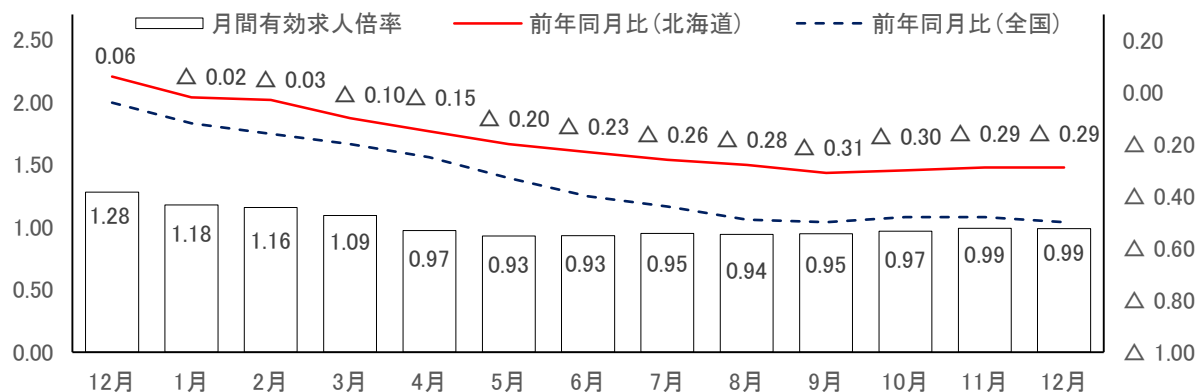
(資料:北海道労働局)

### 月間有効求人倍率（12月）

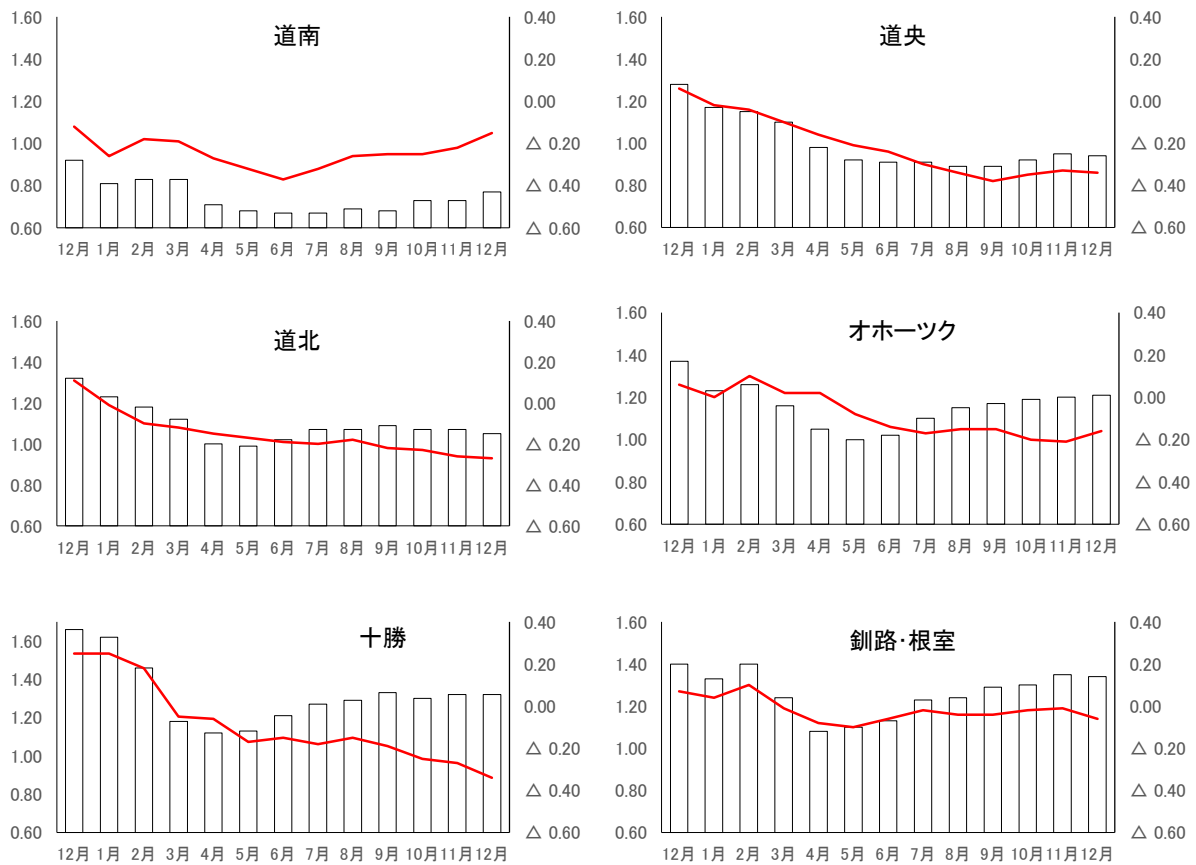
有効求人倍率は0.99倍で、前年同月差で0.29ポイントの減少となり、12か月連続で前年を下回った。

(倍)

(前年同月差：ポイント)



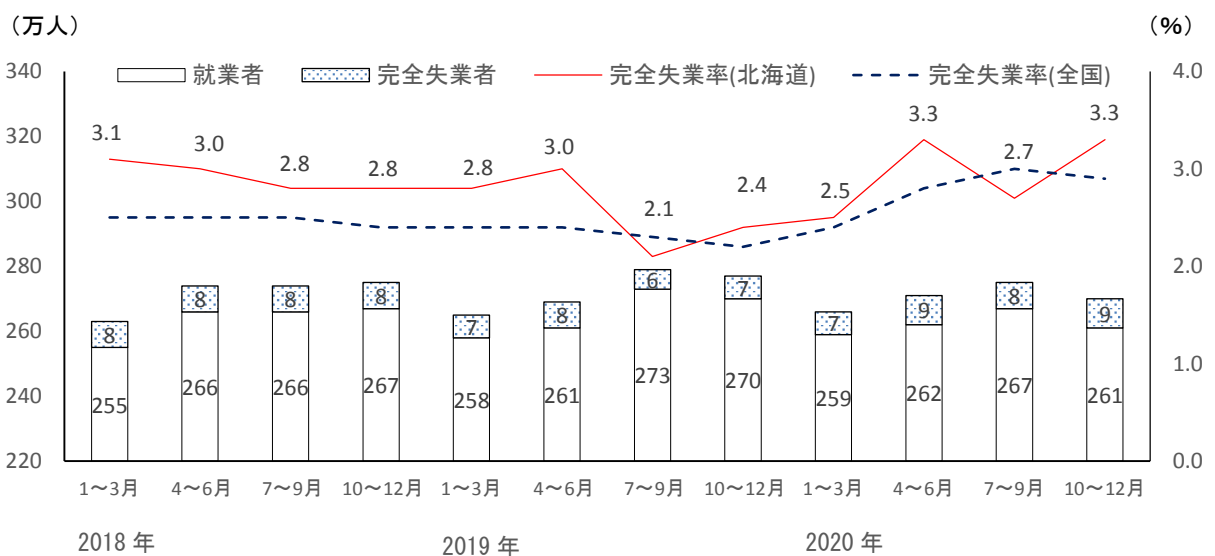
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



（資料：北海道労働局）

完全失業者数、完全失業率（令和2年10-12月）

完全失業者数は9万人で、前年同期と比べ2万人増加している。  
完全失業率は3.3%で、前年同期と比べ0.9ポイント上昇となっている。

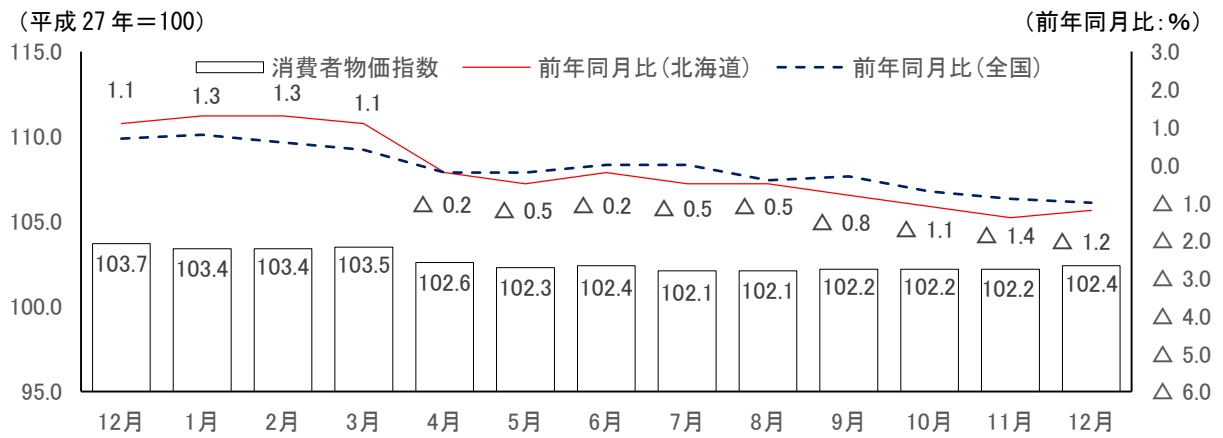


（資料：総務省）

## ■物価～消費者物価指数は前年を下回った

### 消費者物価指数（12月）

消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、102.4で前年同月比1.2%の下降となり、9か月連続で前年を下回った。



(資料:総務省)

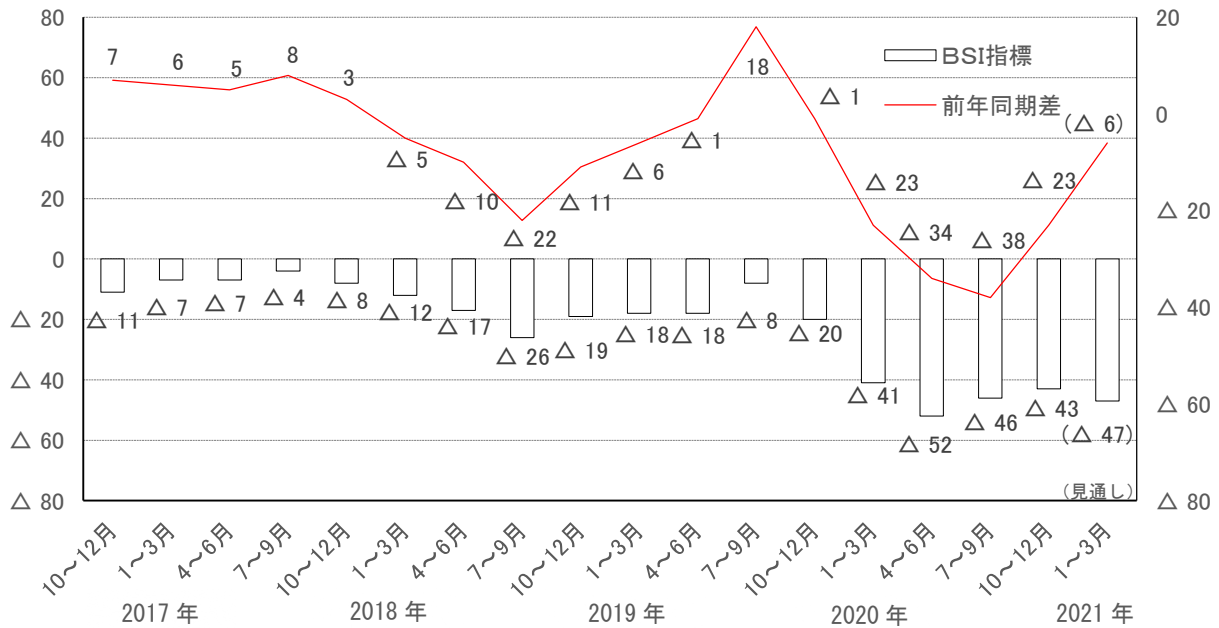


## ■企業経営者意識調査～前期から上昇している

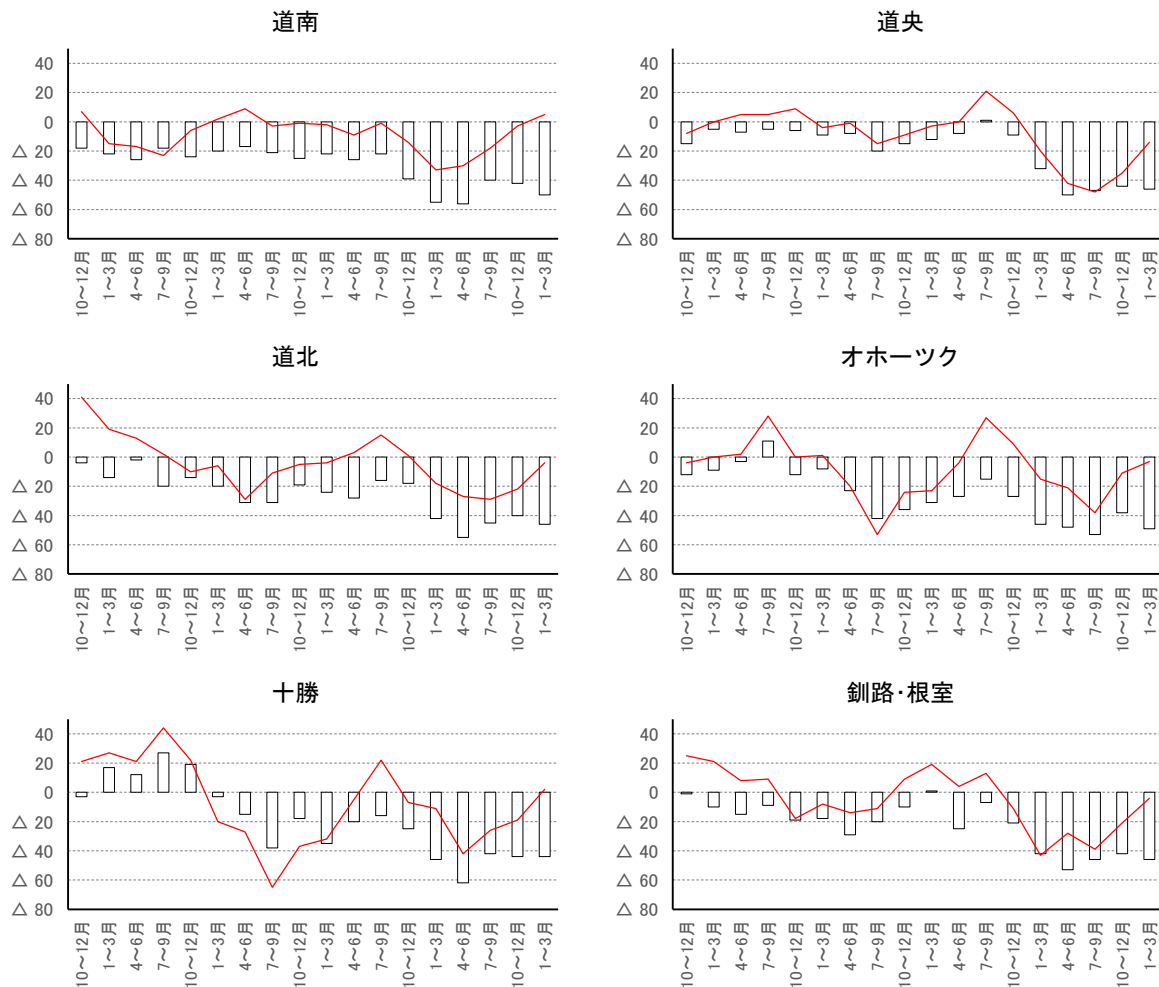
令和2年10～12月期の業況感BSIは△43ポイントで、前期から3ポイント上昇しており、前年同期より23ポイント下降している。来期見通しは△47ポイントで、今期から4ポイント下降の見通しとなっている。

(BSIポイント)

(前年同期差：ポイント)



## ■各圏域の業況感BSI (折れ線グラフは前年同期差)



(北海道経済部調べ)

## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店（道央地域）

#### 【初売りは来客が分散】

初売りは初日と2日目の売上が、年末からのコロナの再拡大の影響を受け、大幅に減少した。3日目はそこまでの落ち込みはなく、密にならないよう到来客が分散したためと思われる。衣類は依然として不調だが、ラグジュアリーブランドについては、インバウンドの売上は消失したものの、改装によるフロア拡大の効果もあって、全体の売上の中では健闘している。

#### 【2月の売上は徐々に回復】

2月に入ってから、1月と比較して、徐々に売上は回復しているところ。バレンタイン商戦は、例年より立ち上がり1週間程度遅かったが、売上にはあまり影響しなかった。ネット販売に力を入れるよりは、売場を数カ所に分散させたり、人気店については整理券を配布して時間を分けたりすることで、密集を避けるよう工夫した。

### ◆スーパー（道央地域）

#### 【売上は好調を維持】

1月は、寒波の影響で売上が落ちた日があったものの、月間トータルでは引き続き高水準が続いている。2月に入ってから、手巻き寿司や落花生などの節分関連商品が好調で、特に手巻き寿司用の寿司ネタが好調。また、手作り需要を反映してか、バレンタイン用の板チョコが前年より動きが良かった。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

#### 【繁華街、観光地で依然厳しい状況】

1月も来店客の減少を客単価の増加で補うという傾向が続いている。集中対策期間の延長に伴い、日中の需要が増加した一方で夜間の減少が継続した。繁華街、観光地の店舗は厳しい状況が継続しているが、住宅地に隣接する店舗での家庭内で消費する商品の需要は継続して高く、売上は堅調に推移した。節分では太巻の予約も好調だった。昨年1月には外国人観光客による衛生品の特需が発生しており、今年はその反動がみられる。

## 最近の経済動向

令和3年2月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>